

寺子屋にしお（市内13か所）

－学校近くの公共施設や地域の寺などで開設－

■概要

小学1年生から3年生までのサードプレイスとして週2日、市内12箇所、放課後の安心・安全な居場所を提供するとともに、学習やふれあい活動をとおして、子供たちの交流を深めています。また、寺子屋学習会（市内1か所）は5年生・6年生を対象に地域の大学生が指導者となり、夏休みと冬休みに開催しています。

■特徴的なこと・工夫していること

外部講師を寺子屋1箇所につき年2回招き、お茶会、音楽会、手品などを体験しています。指導員対象の研修会や情報交換会を行っています。

■プログラム内容

宿題、工作、読み聞かせ、ドッチボール、鬼ごっこ等ゲーム

■課題

指導員の高齢化が進み、活動内容が同じようなものになっています。

特別な配慮が必要な子供の対応がうまくできる指導員が少ないです。

■成果

利用者アンケート（保護者対象）より、学校から帰ると宿題をする習慣が身に付いた。「他学年との交流があり、年上の人に挨拶ができるようになった。」などの意見があり、学習の習慣、コミュニケーション能力は身に付いてきています。

■活動の様子



■開催状況

各寺子屋は週2日 学習会は年10日

■参加人数

1寺子屋あたり平均12人/日

■主な活動場所

公共施設、寺など

■指導員数

1寺子屋あたり3人/日